

## 化学部

主な業務は、廃棄物、土砂等に関する試験検査及び調査研究である。令和5年度に実施した試験検査等は292検体、3,154項目で、その内訳は表1のとおりである。

### 1 試験検査

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、栃木県廃棄物処理に関する指導要綱等に基づく検査や、調査研究に係る試験を実施した。

#### 1.1 廃棄物関係

産業廃棄物最終処分場等の浸透水、周辺井戸水、環境水等や、後述の廃プラスチック類に係る調査研究について148検体、2,374項目（うち、後述の「2.2 河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究」分は、28検体、112項目）の検査等を実施した。

表1 令和5年度試験検査実施状況

区 分	行政検査		調査研究		精度管理		合 計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
一般廃棄物関係								
産業廃棄物関係								
処分場浸透水、排水	36	334					36	334
処分場周辺地下水、井水	55	1,302			106	439	161	1,741
河川水、環境水	29	626					29	626
廃棄物等			28	112			28	112
その他								
事故関係								
土砂関係								
放射能関係								
廃液排出								
その他	16	277			22	64	38	341
合計	136	2,539	28	112	128	503	292	3,154

### 2 調査研究

#### 2.1 災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発

国立環境研究所と地方環境研究機関（令和5年度：45自治体）との共同研究である「Ⅱ型共同研究」に、令和4年度から3年計画で参画している（オブザーバー参加）。

#### 2.2 河川プラスチックごみの排出実態把握と排出抑制対策に資する研究

国立環境研究所と地方環境研究機関（令和5年度：34自治体）との共同研究である「Ⅱ型共同研究」に、令和3年度から3年計画で参画している（令和4年度からはオブザーバー参加）。

### 3 その他

#### 3.1 有害物質含有廃液の搬入等に関する説明会

県の試験研究機関等を対象に、有害物質含有廃液の搬入等に関する説明会を開催し、廃液の管理や廃棄物データシートの作成方法等について説明した。

### 3.2 ダイオキシン類環境調査委託業務に係る検査

県が委託により実施した標記調査について、環境保全課の依頼により試料採取及び分析等精度に係る検査を実施した。

### 3.3 大学への講師派遣

宇都宮大学工学部大学院修士課程の講義「環境分析化学」に、職員を講師として派遣し、当所の業務紹介（主に試験検査業務）や、堆肥関係、マイクロプラスチック関係等の調査研究の内容を講演した。

### 3.4 精度管理等

分析精度の確認、向上及び信頼性の確保を図るため、行政検査における内部精度管理について104検体、427項目、環境省環境測定分析統一精度管理調査について2検体、12項目、表示等が不明瞭な状態である詳細不明廃試薬について16検体、277項目（内部精度管理22検体、64項目）の検査等を実施した。